

ポリスマールむなかた

編集/発行
宗像警察署総務課
【連絡先】
Tel.36-0110



地震、そのときに備えて

★ 地震が発生したら

- 揺れを感じたら丈夫な机やテーブルの下に身をかくしましょう。
- 激しい揺れは1～2分続きます。慌てて外に飛び出したりしてはいけません。
落ち着いた行動をとりましょう。
- 海岸にいるときに大きな揺れや長い時間ゆっくりした揺れを感じたときは、津波の恐れがありますので直ちに高台に避難しましょう。
- 使用中のガス器具など、火を使っている場合は、あわてず火を消しましょう。
ただし、危険が伴いますので無理はしないように。
- 戸を開けて出口を確保しましょう。

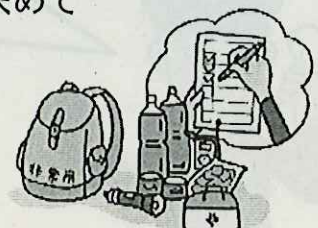


★ 地震の揺れが収まったら

- 火の元を確かめましょう。
- テレビやラジオで气象台等が発表する津波予報や地震・津波に関する情報をよく聞きましょう。
- 車での避難は、渋滞に見舞われ防災活動や避難の妨げになる恐れがありますので、持ち物は最小限にして徒歩で避難しましょう。
- 大地震の後には余震がしばらく続く場合がありますので、余震に注意しましょう。
- 災害時には、未確認の情報がデマとなり混乱を招く場合がありますので、ラジオなどで正しい情報を聞いて行動しましょう。

★ 日頃からの心得

- いざというときに備えて、非常時に必要なものをそろえておくようにしましょう。
- タンスや本棚が倒れないように耐震固定を施しましょう。
- 家族が慌てず行動できるよう、災害時の役割分担を決めておきましょう。
- 避難場所や避難経路も確認しておきましょう。



必要なものを揃えておきましょう

ポリスメールむなかた

編集/発行
宗像警察署総務課
【連絡先】
TEL36-0110



ふっけい君

義援金名目の詐欺等に注意！

平成28年4月14日、熊本県熊本地方で震度7を観測する地震が発生しました！

地震発生に乗じて、「義援金」名目を装った詐欺や震災に便乗した悪質事犯の発生が予想されます！

東日本大震災時の発生事例

- 電話による手口
「義援金を振り込んで」
「使わなくなった貴金属はないか」
「災害地に送りたい」 など
- 自宅訪問による手口
「義援金が足りない」
「貴金属を寄付して」
「耐震診断、修繕が必要」 など



公的機関が電話や自宅訪問をして 義援金等を集めることはありません！



- 不審に思ったら、きっぱり断る
- ひとりで悩まず、家族や警察に相談する
- 緊急時には110番通報する